

老上学区防災フェスこども実行委員会 コーディネーターの感想

○学生団体 En とは

- ・「みんなが安心できる地域社会を」を理念に、防災(特に避難所)をテーマに活動している学生団体。
- ・老上学区でのこども実行委員会のコーディネーターの他に、大津市のある地域の防災活動や、中学校への出前講座などを行っている。

○老上学区での活動のきっかけ

- ・学生団体 En の活動方針が決まった後、市危機管理課に総合防災訓練に関わるができな
いか打診したところ、老上学区は防災に力を入れているので、SOS 委員に参加してはどうか
と紹介があり、老上学区在住のメンバーが SOS 委員に就任。
- ・老上学区在住のメンバーが老上学区での活動の窓口となり、老上学区防災フェスにおけるこ
ども実行委員会のコーディネーターや劇のシナリオ・演出等を行う。

【コーディネーター意見】(事務局事前聞き取り)

○コーディネーターとしてこども実行委員会にかかわっての成果・よかった点

- ・毎回すごく楽しかった。こどもたちがすごく活発でフレンドリーで、一緒に作っているという
感じがとてもあった。
- ・思った以上にこどもたちのアイデアと意欲がすごくて、話が進んだ。
- ・こどもが実行委員会参加後に防災の本を買ったらしく、そのことが嬉しかった。この活動を通
して、こどもたちに防災について考えるきっかけを与えることができた。
- ・こどもたちは素直に自分の価値観に基づく意見を言ったり、人の価値観を受け入れるので、
避難所でも答えはひとつじゃない(多様性がある)ことを改めてこどもたちから学んだ。
- ・自由にやらせてもらえた中で、こどもも地域の人もあたたかいと感じた。
- ・こどもたちには二つのアイデアを一つにすることができる協調性があった。
- ・大学生では出ないような案が出て驚いた。

○コーディネーターとしてこども実行委員会にかかわって難しかったところ

- ・こども実行委員会でなにをやるか考えるときにテーマが抽象的だった。何を伝えたいかが明
確になっていると、実施内容は決めやすかったかもしれない。
- ・「防災フェス」で実施するという中で、「楽しさ」と実際の災害時を想定した企画のバランスを
取ってアドバイスするのが難しかった。
- ・案出しの段階でどこまで口出ししていいのか悩んだ。